

個別二次対策/共通テスト対策

各大学の過去10年間で出題された内容の中から、最頻出の問題を厳選し、解説。

一人ひとりの志望校の傾向に合わせて出題、解説をすることで、出にくい問題に取り組むという“無駄な演習”を徹底的に排除し、本試験で出る確率の高い単元を強化、“得点に繋がる学習”を実現する。

英語

<p><英語長文></p> <p>東京大・京都大学</p> <p>の長文読解</p>	<p>論理を追った「精読」を徹底</p> <p>英文和訳、内容説明問題は下線部だけでなく本文全体を貫く主旨の読解が必要。難解な構文把握をした上で、文脈からどのように訳すべきか、説明すべきかを学ぶ。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英語長文></p> <p>旧帝大の長文読解</p>	<p>徹底的な論理的読解と、難解構文への対処</p> <p>内容説明問題は下線部だけでなく本文全体を貫く主旨の読解が必要。また和訳問題では難解構文が頻繁に出題されるため、論理に加え応用構文への対処を学ぶ。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英語長文></p> <p>上位国立大学</p> <p>の長文読解</p>	<p>国立記述問題の中でも典型的な問題を厳選</p> <p>上位国立大学の長文問題の中から受験生が点数を落としやすい良問を厳選。特に文章が難解な具体例から始まる“読みにくい”英文を中心に対処法を学ぶ。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英語長文></p> <p>早慶大の長文読解</p>	<p>圧倒的な語彙力と、難関な文章を読み解く論理力</p> <p><u>早稲田大・慶應大</u>の難文を攻略するためには、他大学では求められないような圧倒的な語彙力と、本文全体を通した文脈理解・論理力が求められる。この講座では上記の2力に加え、「信号語」「パラグラフリーディング」「消去法」などの解法も同時に養う。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英語長文></p> <p>MARCHの長文読解</p> <p>関関同立の長文読解</p>	<p>語彙力と品詞の判別強化、内容一致問題への対応</p> <p><u>有名私立大</u>の長文読解では標準以上の語彙力に加え、品詞単位での文法力が問われる。文全体を通した内容一致問題への対策も必不可少であり、「信号語」「パラグラフリーディング」「消去法」などの解法を養う。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英語長文></p> <p>共通テストの長文読解</p>	<p>設問別の解法テクニック</p> <p>目標時間内に必要な情報を本文から読み取るために、“設問内容を先読みする”“言い換えに慣れる”“事実と意見の区別”といった、共通テストに特有の対応テクニックを学ぶ。</p>	<p>6コマ</p>

<p><英作文></p> <p>旧帝大の和文英訳・自由英作文</p>	<p>文意理解と、表現方法のパターン化</p> <p><u>旧帝大クラス</u>の和文英訳問題では、まず日本語(和文)の正しい文意理解を行う。その後適切な英文表現に置き換える力が試される。この一連の流れを徹底し、可能な限り表現方法をパターン化することで体系的に減点されない英作方法を学んでいく。</p>	<p>6コマ</p>
<p><英文法・英文解釈></p> <p>共通テスト～難関私大の英文法(総復習編)</p>	<p>頻出問題だけを、一冬で総復習</p> <p><u>共通テスト～難関私大</u>で頻出の問題にフォーカス。弱点の克服と知識の定着を図り、「何となく覚えた」では得点できない共通テスト以上の良問攻略を目標とする。</p>	<p>6コマ</p>

国語

<p><現代文/古典読解></p> <p>東京大・京都大の国語</p> <p>(現代文/古典別)</p>	<p>設問の意図を捉え、簡潔に答える</p> <p>大問1の評論では本文全体の主張を読み解いた上で、(回答欄が比較的狭いため)解答要素に優先順位をつけて簡潔に答える必要がある。文章の趣旨の読み取り方、答案作成に必要な考え方を指導する。また、比喩の説明問題など、本文中に直接明示されていない内容を答える設問に対応できる力を身に着ける。</p>	<p>6コマ</p>
<p><現代文/古典読解></p> <p>旧帝大の国語</p> <p>(現代文/古典別)</p>	<p>ハイレベルな読解と論述力</p> <p>記述問題が中心になるため、本文全体を意味段落ごとに読むことで、書くべきポイントを数え、筋道をつけて答案を作る方法を指導する。差が付きやすい哲学的内容や200字の記述問題への対策も扱う。</p>	<p>6コマ</p>
<p><現代文/古典読解></p> <p>上位国立大の国語</p> <p>(現代文/古典別)</p>	<p>要約能力を鍛える</p> <p>硬質な文章を通して、比較的短い時間で本文を正確に読めているか(指示内容の説明、要約問題など)が問われることが多い。答案に入れ込むべき要素に優先順位をつけ、下書きから字数制限内に解答を落とし込む指導を行う。</p>	<p>6コマ</p>

<p>〈現代文/古典読解〉</p> <p>難関私大の国語</p> <p>(現代文/古典別)</p>	<p>素早く正確な読解力</p> <p>出典となる硬質な文章は訓練を積みばさほど苦戦しないが、選択肢と本文との論理的整合性について厳しく問われることが多いため、選択肢を素早く的確に判断する方法を重点的に指導する。</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈現代文読解〉</p> <p>共通テスト・中堅私大の現代文読解</p>	<p>現代文実践型演習・解説</p> <p>評論文では、受験に頻出の論理展開・出題傾向をパターン別(具体⇒一般のパターン、長い譲歩のパターンなど)で解説。小説文では、設問が集中する登場人物の心情の動きに焦点を当てて読解し、本文を根拠に選択肢を吟味する方法を指導する。</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈古文読解〉</p> <p>共通テスト・中堅私大の古文読解</p>	<p>共通テスト古文に必須の幅広い知識・読解力を身に付ける</p> <p>歌論や物語文などの長文を扱いながら、識別問題などの基本的な文法事項の確認、主語の取り方、接続詞の利用、和歌の修辞法などを解説。</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈漢文読解〉</p> <p>共通テスト・中堅私大の漢文読解</p>	<p>句法暗記&設問別解法</p> <p>漢字の読み・漢字の意味と熟語の合致・書き下しと解釈・問6内容合致問題などの解法や付随知識を解説。</p>	<p>6コマ</p>

数学

<p><二次対策></p> <p>東京大学の数学 (文系/理系別)</p>	<p>戦略を立て、論理的整合性がとれた答案作成力を身に付ける</p> <p>頻出単元のうち、確実に取るべき(出題パターンに限られる)問題を厳選。設問難易度に差があるため、問題の取捨選択と時間配分のポイントを身に着ける。 頻出単元:空間図形、整数問題、融合問題、微積分、論証、存在領域</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>京都大学の数学 (文系/理系別)</p>	<p>問題の本質を見抜き、解答方針を定める力を鍛える</p> <p>的確な解法に至るための考え方、解答の糸口を捕まえる力を鍛えるとともに、本試験では完答案からの厳しい減点方式であるため、解答案の構成力を養う。 頻出単元:整数、代数(方程式、ベクトル)、確率、数列、微積</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>東工大の数学 (理系)</p>	<p>重厚な問題を通して最難関レベルの計算力・思考力を身に付ける</p> <p>誘導が無い問題にどうアプローチするかを構成を考える力を身に付ける。証明問題では正しい手順で論証できているかの答案指導を行う。 頻出単元:解析問題(微積)、整数、確率、融合問題など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>旧帝大の数学 (文系/理系別)</p>	<p>論理力・推論力を身に付ける</p> <p>証明問題の解答の指針の立て方、得点すべき問題を見極める力をつけていく。また、難関大学で頻出の融合問題に対応できる総合力を養成する。特に文系学部二次試験で頻出の典型問題の解法を中心に学ぶ。 頻出単元:場合の数・確率、極限、整数、微積分の総合問題、二次曲線など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>上位国立大の数学 (文系/理系別)</p>	<p>受験最頻出の良質な問題を徹底演習</p> <p>難関大学でも出題される良問(計算力を要する)が出題されやすく、理系学部では融合問題も出題される。頻出のパターンを確実に得点できるようにし、記述式の問題でも取りこぼしをしない解答力を養う。 頻出単元:微積、確率、ベクトル、数列、複素数など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>慶應大・早稲田大の数学 (文系/理系別)</p>	<p>私大最難関レベルで求められる総合力を養う</p> <p>典型(難易度は高い)・融合問題の解法を中心に学ぶ。また、解答する問題の取捨選択、高度な思考力・発想を必要とする問題への対処法など、総合的な数学の力を磨く。 頻出単元:整数、確率、微成分、融合問題、証明問題など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>MARCH・関関同立の数学 (文系/理系別)</p>	<p>標準問題+他の受験生と差がつく応用問題の攻略で合格圏に</p> <p>二次試験としては標準レベルの問題が多いが(同志社・中央はムズイ)、確実に合格圏に入る為に頻出分野の対策を応用レベルまで行っていく。理系学部は頻出である三角関数と微積の融合問題を中心に対策を行う。 頻出単元:微分、積分、数列、確率など</p>	<p>6コマ</p>

<p><共通テスト対策></p> <p>共通テスト対策</p> <p>(ⅠA/ⅡB別)</p>	<p style="text-align: center;">共通テストの実践形式問題</p> <p>数学Ⅰ・Ⅱの計算/関数分野では満点を取れるだけでなく解答スピードを意識した解法を解説する。数学A・Bの分野では、出題パターンを押さえて類題への応用を目的として解説を行う。</p>	<p>6コマ</p>
--	---	------------

物理

<p><二次対策></p> <p>東京大学の物理</p>	<p style="text-align: center;">本質的な理解で発展的な内容を基本原理に落とし込む</p> <p>大問の後半では合否を分ける、思考力を要する問題が出題される。合格点を取るために物理現象と式の意味を深く理解してもらおう。同一の出題テーマが繰り返されることが多い。</p> <p>頻出単元: 相互運動、重心系から見た運動、電磁誘導、回路など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>京都大学の物理</p>	<p style="text-align: center;">京大特有の長文問題(穴埋め形式)の攻略</p> <p>大問前半で問われる基本解法の習得から、グラフ化、近似など高度な内容の対策まで行う。また、受験時間に対する問題数が多い為、素早く正確に解ききる力を身に付けていく。</p> <p>頻出単元: 加速器、運動と力積、重心系、記述、証明など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>東工大の物理</p>	<p style="text-align: center;">発展的内容に対処する読解力・思考力を身に付ける</p> <p>論述の仕方、グラフ作成問題の対応策を含め、受験最高難度の物理を制するための重要解法を扱っていく。</p> <p>頻出単元: 重心系、単振動、LC回路、電磁誘導など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>旧帝大の物理</p>	<p style="text-align: center;">基本原理を深く理解することで、高度な問題を正しくイメージして解く</p> <p>公式の暗記だけでは解けない、思考力を要する重厚な問題が出題される。身近な例を取り上げたり、馴染み無いテーマが出題されることもあるため、何が起きるのかを正しく読み解く為の読解力・思考力を鍛えていく。</p> <p>頻出単元: 相対運動、慣性力、荷電粒子の運動、熱サイクルなど</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>上位国立大の物理</p>	<p style="text-align: center;">公式の意味を理解し、出題された物理現象と結びつきける</p> <p>基本原理から深く理解し、全分野での典型問題の解法を習得していることが要求される。二次試験特有の誘導に沿った方針の立て方・解法を学ぶ。思考力を要する小論述やグラフ問題の出題も増えてきている。</p> <p>頻出単元: 放物運動、慣性力、コンデンサー、気体の状態変化など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>慶應大・早稲田大の物理</p>	<p style="text-align: center;">受験最高難度の物理</p> <p>医学部入試レベルの問題も出題されるなど、大問の中盤～後半にかけては非常に難易度が高い。グラフや式の意味を考察すること、グラフや物体の軌跡を自分で図示することも練習する必要がある。</p> <p>頻出単元: 単振動、相互運動、回路、荷電粒子の運動など</p>	<p>6コマ</p>

<p><二次対策></p> <p>MARCH・関関同立</p> <p>の物理</p>	<p>状況を的確に見抜く読解力</p> <p>標準レベルの問題が多いが、一見しただけでは現象を捉えにくい複雑な問題も出題される。合格圏に入る為に頻出分野の対策を中心に、初見の応用レベルにどう対処するかを学ぶ。</p> <p>頻出単元:コンデンサー回路、摩擦のある単振動、ドップラー効果など</p>	<p>6コマ</p>
<p><共通テスト対策></p> <p>共通テスト対策</p>	<p>新傾向の読解問題、グラフを読み解く問題、実験考察問題対策</p> <p>典型問題の解法を習得した上で、思考力・読解力が必要な新傾向の差がつく問題で得点できる実践力を養う。基礎理解を徹底させるため、受講者は各単元のチェックテストも合格必須。</p>	<p>6コマ</p>

化学

<p><二次対策></p> <p>東京大学の化学</p>	<p>発展的な内容をその場で理解して解くための洞察力</p> <p>目新しい問題も多く、発展的なテーマの問題が出やすい。問題文を読み解き、その場で考えて落とし込む能力が必要となる。</p> <p>頻出単元:気体、平衡、無機と理論の融合問題など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>京都大学の化学</p>	<p>京大特有の長文問題(穴埋め形式)の攻略</p> <p>物理同様に長文の穴埋め形式となり、基本レベルの問題もある程度の割合で出題される。全体の中で有機化学の出題が半分を占めているので、構造決定・理論との融合問題を得点源にできるよう対策を行う。</p> <p>頻出単元:平衡、溶解度積、構造決定など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>東工大の化学</p>	<p>深く正確な理解+確実に答えを導き出す計算力</p> <p>各問題は短いですが、教科書を網羅するレベルでの知識がないと得点に結びつかない。確実に得点したい問題と、時間内での解答が難しい問題との見極めも訓練していく。</p> <p>頻出単元:平衡、結晶格子、遷移元素、高分子など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>旧帝大の化学</p>	<p>高度な化学的思考力・洞察力</p> <p>図示・論述など多岐にわたる応用問題を解くための思考力・洞察力を養う。頻出となる発展的なテーマを扱いつつ、計算問題を確実に解ききる得点力をつける。</p> <p>頻出単元:平衡、無機と電気化学、高分子、立体異性体など</p>	<p>6コマ</p>
<p><二次対策></p> <p>上位国立大の化学</p>	<p>広く正確な知識+正確な計算力を習得し、高得点を狙う</p> <p>典型問題が中心のため、その解法を網羅することを最優先に学ぶ。差がつく応用問題を解く実践力・大問の中盤～後半にかけて必要な思考力をつける。論述問題の対策も行う。</p> <p>頻出単元:溶液、構造決定、無機・高分子の知識問題など</p>	<p>6コマ</p>

<p>〈二次対策〉</p> <p>慶應大・早稲田大 の化学</p>	<p>本質の理解の深さ・応用力が問われる</p> <p>条件を比較するなど、原理を深く理解していなければ解けない問題が出題される。試験時間内での合格点を取るために、頻出パターンを素早く解ききれるようになるまで演習を行う。</p> <p>頻出単元：平衡、気体、無機など</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈二次対策〉</p> <p>MARCH・関関同立 の化学</p>	<p>基礎知識の網羅＋典型解法の習得</p> <p>各大学による傾向を掴みながら、二次試験標準レベルの問題の解法を身に付ける。最頻出の理論化学の内容を中心に扱う。</p> <p>頻出単元：化学平衡、気体、無機、構造推定、高分子など</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈共通テスト対策〉</p> <p>共通テスト対策 理論化学</p>	<p>計算問題の解法を網羅し8割を目指す</p> <p>気体、溶液、結晶、平衡などの計算問題における弱点を無くし、効率よく正確に解く解法を学んでいく。また、新傾向の考察問題、思考力問題へのアプローチ、解くためのテクニックを習得。</p>	<p>6コマ</p>
<p>〈共通テスト対策〉</p> <p>共通テスト対策 無機・有機化学</p>	<p>受験最頻出の知識を詰め直し、確実に得点に繋げる</p> <p>正しく理解しながら知識を付けることで、暗記の効率を上げ、無機で確実に点数を確保できるようにする。深く理解することが必要であり、ミスが起きやすい構造決定・構造異性体を解くための考え方・手順を身に付ける。</p>	<p>6コマ</p>